

図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成30年

2



月号

第443号 (第36巻第11号)

【目次】

P 1	登別配本所のご紹介	P 6	図書館職員コラム
P 2-3	行事と展示のお知らせ	P 7	わたしのおすすめ本
P 4	活動の報告と 図書館からのお知らせ	P 8-11	新着図書案内
P 5	アーニス分館だより	P 12	カレンダー・施設案内

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

登別配本所のご紹介

登別配本所は登別本町3丁目、登別マリンパークニクス向かいあたりにある登別婦人センターの1階にあります。

蔵書数は約3600冊です。文学や実用書などの一般書や絵本・児童書、紙芝居なども所蔵しています。入口付近の書棚以外にも受付カウンター右奥側に図書室があり、テーブルとイスを設置していますのでゆっくり本を読むことができます。

登別配本所も市をまたがって本の貸し借りが出来る「西いぶり広域図書館」に含まれています。そのため登別市・室蘭市・伊達市で所蔵している本を取り寄せて登別配本所で借りることや返すことができます。

開館時間が平日は9時から17時30分、土・日曜日、祝日は9時から17時と曜日によって変わりますのでご来館の際はご注意ください。

図書室内書架



受付カウンター前書架



行事のお知らせ

毎月恒例！映画会

2月 **こども映画会**

2月3日(土)午前10時30分～

宮沢賢治 原作
ねこのじむしょ
「猫の事務所」
バリアフリー版 (アニメ 22分)



場所：図書館3階会議室
入場無料 どなたでもご覧いただけます！

映画鑑賞会

2月3日(土)午後1時30分～

「ヒグマとともに」(31分)
「知床」(31分)
「北海道のシマフクロウ」(30分)



場所：図書館3階会議室
入場無料 どなたでもご覧いただけます！

今月のスペシャルイベント

たたら製鐵講座



実業資料たたらのお金
たたら製鐵/ロダシ風景

●実施日時
平成29年2月24(土)・午後1時30分～3時30分

●場所 登別市立図書館 3階会議室

●申込 ⇒不要です、当日直接会場にお越しください。

●参加費用：無料です。

「今日の主な講演の内容」
◎砂鉄と木炭から「和鉄を造る」日本古来の製鉄法「たたら吹き製鐵」の歴史と実践してのすばらしさ と面白さを学びます。
◎北海道と鉄が関与「富樫-登別」における 製鐵の歴史
◎DVD「千年の歴史-たたら製鐵-復讐の兵」の鑑賞

主催・実業資料たたらのお金
問い合わせ先：石橋 勝美
0143-85-1179

公益財団法人アイヌ文化振興・研究機構 アイヌ文化アドバイザー協議会
アイヌ文化講座
アイヌ民族の歴史を学ぼう

文字のなかった時代から現在まで、アイヌ民族の歴史を学びます。近代日本のアイヌ政策を振り返り、アイヌ民族のこれからを考えます。

講師 富樫利一氏
【講師プロフィール】
アイヌ文化アドバイザー、登別市在住。
『クレンパ物語』(海鳥社 2015年) など著書多数。


日時 平成30年2月17日(土)
午後1時30分～3時

会場 登別市立図書館3階会議室
どなたでも参加できます。申込不要。入場無料。


主催 登別市立図書館 ☎0143(85)4324

ビブリオバトルのタペ 第2回

本を通して人を知る・人を通して本を知る



本と人、人と人を繋ぐ『ビブリオバトル』
登別図書館のビブリオバトル第26弾です。お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみましょう！



日時 2月16日(水) 午後6時～7時30分
場所 登別市立図書館 本館 3階会議室
対象 どなたでも参加できます。はじめにルールをご説明してから始めますので、ビブリオバトルを体験したい方もぜひご参加ください。聴取だけの方も歓迎します。
申込 不要。直接会場にお越しください。参加費無料。
持物 お気に入りの本を各自1冊持参してください。
共催 いぶりびよりぶ♪後田晴子さん
主催・お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324

おはなし会

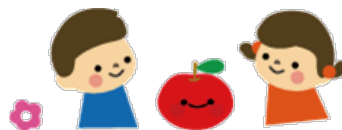
おはなしくれよん

わらべうたや絵本を楽しむ会などを行います。

日時 2月 7日(水) 午前10時30分～

2月21日(水) 午前10時30分～

場所 3階 会議室



えほんのへやのおはなしかい

図書館の職員が絵本や紙芝居の読み聞かせをします。

日時 2月10日(土) 午後2時～

場所 1階 えほんのへや

おはなしぼけつと

絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなどを行います。

日時 2月24日(土) 午後1時30分～

場所 1階 えほんのへや

*日時や内容が変更・中止になる場合があります。ホームページや広報にてご確認ください。

展示のお知らせ

登別市移動図書館車「こぐま号」リニューアル記念

なまえ・ぬりえコンテスト 作品展

2月10日(土)～2月24日(土)

こぐま号のリニューアルを記念して、昨年7月～8月に市内の幼児を対象に実施した標記コンテストの作品を展示します。

応募総数全198点の中から、入選作品に加えて最終選考対象となった計37点の力作が、図書館ロビーに大集合します。ぜひご覧ください！

事業報告

ふるさと再発見講座「郷土資料を電子データに」開催

12月9日（土）午後1時30分より、ふるさと再発見講座「郷土資料を電子データに」を開催しました。

この講座では、今から50年前に発行された「登別町史」（約1,300ページ）のデジタル化に取り組まれた高森繁美さん（図書館応援ボランティア）を講師にお招きして、作業手順の実演を交えて苦労した点やデジタルデータの活用方策などについてご講話をいただきました。

参加された方々からは、作業に使用した機材やデジタル化したデータの拡張性などについて質問が寄せられ、他市町での取り組みなども含めた活発な情報交換が行われました。

講座の最後には、仙台藩の片倉主従が入植時に通ったと考えられている室蘭～鷺別までの「モロラン道」について、講師の高森さんが実際に歩いたときの様子も紹介され、当時の道程と現在の道路（ルート）を比較した相違点などについても解説して頂きました。



図書館からのお知らせ

北海道立図書館の本を借りることができます！



登別市立図書館を窓口で北海道立図書館所蔵の本を借りることができます。図書館職員が北海道立図書館にご希望の本の所蔵あるかをお調べします。所蔵があった場合、登別市立図書館から北海道立図書館に借り受けの申し込みをします。本が届いたらご連絡しますので他の予約本と同じようにご利用ください。登別市立図書館以外の市内配本所を受け取り場所にすることもできます。原則として借りた図書館・配本所で返却いただけますようお願いいたします。

北海道各地の地域資料から文学・実用書まで様々な本を借りることができます。

詳しくは職員までお尋ねいただくか、北海道立図書館のホームページをご覧ください。

***北海道立図書館は平成30年3月末までアスベスト除去工事のため臨時休館しています。借り受けできる本もありますが、4月以降でなければご用意できない本もありますのでご了承ください。**

アーニス分館だより



アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * 見やすい大活字本があります。
- * DVDを視聴できます。
- * 雑誌は最新号の一夜貸しも行っています。
- * 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



まちゼミのイベント報告パネルを展示しております！

図書館のカードが無い方も、本や雑誌の「ちよい借り」できます！



? アーニス店内で、当日中（19時50分まで）、本や雑誌（バックナンバー）をご利用できます。店内のお休み処やベンチなどでちょっとゆっくりご覧いただけます。



? 住所を確認できるもの（保険証など）と一緒に、カウンターまでお持ちください。

? 返却もカウンターへお願い致します。

? 汚れ・破損防止にご協力くださいませ。

《新刊おすすめ本紹介》

ばっちゃん ～子どもたちの居場所。広島のマザー・テレサ～ 伊集院 要 著／扶桑社



人間のやさしさっていうのは見返りを求めたらいけない
見返りを求めるのがやさしさじゃないよ

父の言葉を原点に、40年にわたって居場所のない子どもたちに自宅を開放し、毎日無償であたたかいご飯を食べさせ、200人以上の子どもたちを更生させてきた中本さんの8年間の記録です。

現代の日本にも行き場のない子どもたちがたくさんいるという実態を伝え、子供を育てる事の大変さ、あたたかな食事と会話がどれだけ必要な事かを考えさせられ、学ぶことの多い本です！！

登別市立図書館では1975年から移動図書館車「こぐま号」を運行しております。

児童書は絵本や物語などを、一般書は小説や実用書などを中心に、約1900冊マイクロバスに載せ、図書館や配本所から遠い地域を中心に巡回し、本の貸出・返却をおこなっております。

現在の車両は2000年9月から運行し、18年間という長い年月、登別市内を走り続けたこともあり、車体表面は錆びて穴があき、あちこち故障するなど老朽化が目立っていました。そんなボロボロのこぐま号ですが、室蘭信用金庫のご厚意で今年度内に新しい車両に更新されることとなりました。

私がこぐま号の担当となって4年経ちますが、その間、様々な場所が故障しました。クーラーが壊れて生ぬるい風が出てきたり、暖房をつけていると外からモクモクと白い煙が出てきたり、ドアが閉まらなくなったり、雨漏りをしたり、ブザー音が止まらなくなったり…。

修理をして直ったと思ったら、また違うところが故障して修理をするという繰り返しでした。新車が来るまでの間、道南バスの運転手さんには、こぐま号の機嫌を取りつつ、だましだまし運転をしてもらいながら、もうこれ以上故障しませんようにと祈る思いで、残りわずかな日々を送っています。

新しいこぐま号には、日本工学院北海道専門学校の方にデザインしていただいた、クマのキャラクターがラッピングされます。昨年は、そのクマのキャラクターの名前と塗り絵コンテストが実施されましたが、今年はその中から選ばれた候補への投票イベントが実施されます。どのようなクマのキャラクターが選ばれるのか、楽しみです。乞うご期待！

現在運行している車両は、ボディーカラーは白と薄紫の2色使いで、「登別市立図書館」「こぐま号」という黒い文字だけが入っているシンプルなデザインです。そのせいもあってか、巡回中には、自動車教習所の生徒と思われる人に、送迎バスと間違われ、バスを止めようとして手を挙げられてしまうことが度々あります。また、こぐま号を見つけて、こちらに向かって手を振ってくれる子供達もいて、私も嬉しい気持ちになりながら手を振り返しています。

これから新たに、クマのキャラクターがラッピングされた車両になれば、教習所の送迎バスと間違われることはなくなり、子供たちには今まで以上に発見してもらいやすくなり、沢山手を振ってもらえるようになることでしょう。

現在こぐま号は、火曜日から土曜日までの週5日間、登別市内の57ヶ所を2週間かけて回っています。4月からは巡回時間の変更がありますので、こぐま号をご利用の方はご注意ください。

今後も、今まで以上に皆様に愛されるこぐま号を目指して頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



「人生がときめく片づけの魔法」 近藤麻理恵著／サンマーク出版

この原稿は12月に書いています。

片付け、掃除が気になって、もう取りかからないとという時期です。そういう時期に読んで、片付けや掃除にとりかかる気持ちのハードルを下げたいときに読んでいるのがこの本です。

いろんなテクニックも散りばめられているのですが、僕が参考にするのは、その取り組む上での考え方、テクニックのベースになるものです。

片付けをする、しないはさておき、そういった考え方、割り切り方を読み込んでしまいます。

例をあげると、ときめきがその物に感じられないのであればとっておこうという考えをせずに捨ててしましましょう、というところや捨てるのと片付ける、を考え方として分けてしましましょうとか、です。(僕はそういった考えをなかなかしない人間です。)

この文章が出るころにはもう冬本番で、各地で冬のイベントが目白押しの時期ですが、出かけるのがおっくう、あるいは部屋の散らかりが気になる人は読んでみて、少しでも片付け気分を持つだけでもいかがでしょうか？

断捨離とまでは行きませんが、心の整理として…。



郷土資料紹介

「北海道の歴史 上 古代・中世・近世編」長沼孝ほか著／北海道新聞社 刊

今年には北海道と命名されてから150年の年になるそうです。

しかし、この本は、それよりも前の話、北海道開拓が始まる前の北海道ってどうだったのだろうということを知るのには十分な一冊、といった感じでしょうか？

しかし、基礎知識がないと理解するには難しいもの、とも感じます。

何か、自分にとってわかりやすい北海道史の本、あるいは昔のアイヌの人々がどういう生活をしていたのかについてなどテーマをしぼって、何か本を別に借り、それを手掛かりにして、読み込んでみるといった方法がいいのではと思います。

下巻は北海道の開拓史と重なります。上巻と同じく、じっくり読ませる内容なので、とっかかりをつかんで、興味のあるところからという感じで読んでいくといいかと思います。

この本より内容が易しい北海道史の本も図書館にはありますので、北海道の歩みをこれを機会にひもといてみては、と思います。



新 着 図 書 案 内 平成30年2月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		ざわつく女心は上の空	こかじ さら
Dの遺言	柴田 哲孝	公開法廷 一億人の陪審員	一田 和樹
●ねこ町駅前商店街日々便り	柴田 よしき	誰が死んでも同じこと	円居 挽
痴漢冤罪	新堂 冬樹	くちなし	彩瀬 まる
襷を我が手に	蓮見 恭子	ナックルな三人	ねじめ 正一
●大獄 西郷青嵐賦	葉室 麟	画狂其一	梓澤 要
代理人(エージェント)	本城 雅人	蒼玉の令嬢	荒井 修子
●ノーマンズランド	誉田 哲也	●花歌は、うたう	小路 幸也
メガネと放蕩娘	山内 マリコ	キッチンコロシウム	田中 経一
●おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子	駄犬道中こんぴら埋蔵金	土橋 章宏
破滅の王	上田 早夕里	満天のゴール	藤岡 陽子
●奔流恐るるにたらず(重蔵始末 8)	逢坂 剛	9 その他の文学	
●秀吉の活	木下 昌輝	●歌丸ばなし	桂 歌丸
●カネと共に去りぬ	久坂部 羊	●遺言。	養老 孟司
インフルエンス	近藤 史恵	●太陽と乙女	森見 登美彦
●荒海を渡る鉄の舟	鳥羽 亮	●物語と歩いてきた道 インタビュー・スピーチ&エッセイ集	上橋 菜穂子
●逃亡刑事	中山 七里	●スピンの笑顔	町田 康
●女の子のことばかり考えていたら、 1年が経っていた。	東山 彰良	●かるい生活	群 ようこ
断層の森で見る夢は(KZ' Deep File)	藤本 ひとみ	三美スーパースターズ	パク ミンギユ
ひよっこ社労士のヒナコ	水生 大海	カズオ・イングロ 新版 境界のない世界	平井 杏子
●ヴェネツィア便り	北村 薫	とても良い人生のために	J. K. ローリング
さくら、うるわし(左近の桜 3)	長野 まゆみ	●詩人なんて呼ばれて	谷川 俊太郎
花のお江戸で粗茶一服	松村 栄子	●月夜の散歩	角田 光代
●呉漢 上・下	宮城谷 昌光	日本文学全集 23~30	池澤 夏樹 個人編集
絵草紙月夜遊女	泉 鏡花	一〇五歳、死ねないのも困るのよ	篠田 桃紅
逆さに吊るされた男	田口 ランディ	笑顔のママと僕と息子の973日間 シングルファーザーは今日も奮闘中	清水 健
迷い家	山吹 静吽	●レッド・プラトーン 14時間の死闘	クリントン・ ロメシャ
人の昏(く)れ方	中原 清一郎	嘘の木	フランシス・ ハーディング
●鳥獣戯画	磯崎 憲一郎	こぼこぼ、珈琲	阿川 佐和子ほか
●光の犬	松家 仁之	折口信夫 日本の保守主義者	植村 和秀
木島日記もどき開口	大塚 英志	いのちの旅人 評伝・灰谷健次郎	新海 均
老愛小説	古屋 健三	2択で学ぶ赤ペン俳句教室	夏井 いつき
●ふたご	藤崎 彩織	京都で考えた	吉田 篤弘

新 着 図 書 案 内 平成30年2月 No.2

書 名	著 者	書 名	著 者
2 歴史・地理		● ダーティ・シークレット タックス・ヘイブンを破壊する	リチャード・ マーフィー
裏切られた自由 下	ハーバート・ フーパー	写真で読む三くだり半	高木 侃
ヨーロッパ文明の起源	池上 英洋	異次元緩和の終焉 金融緩和政策からの出口はあるのか	野口 悠紀雄
人生の気品	草笛 光子ほか	5時に帰るドイツ人、 5時から頑張る日本人	熊谷 徹
「知の巨人」の人間学 評伝渡部昇一	松崎 之貞	日本論 文字と言葉がつくった国	石川 九楊
冬の北海道 2017	昭文社	なぜ中国人は財布を持たないのか	中島 恵
地球の歩き方 2018~19 ニュージーランド	地球の歩き方 編集室	日銀と政治 暗闘の20年史	鯨岡 仁
日本人のための第一次世界大戦史	板谷 敏彦	労働者階級の反乱	ブレイディみかこ
日本史の内幕 戦国女性の素顔から幕末・近代の謎まで	磯田 道史	副業図鑑	戸田 充広
天皇家のお葬式	大角 修	母親に、死んで欲しい	NHKスペシャル 取材班
物語フィンランドの歴史	石野 裕子	ぼっちゃん 子どもたちの居場所。広島のマザー・テレ	伊集院 要
光明皇后 平城京にかけた夢と祈り	瀧浪 貞子	70歳、はじめての男独り暮らし	西田 輝夫
● 松浦武四郎北の大地に立つ	合田 一道	知立国家イスラエル	米山 伸郎
決定版北海道の温泉まるごとガイド 2018-19	小野寺 淳子	● なぜ金正男は暗殺されたのか	西脇 真一
学校では教えてくれない戦国史の授業 秀吉・家康天下統一の謎	井沢 元彦	最新契約のしくみとルール	梅原 ゆかり 監修
● 逆説の日本史23 明治揺籃編	井沢 元彦	日本の無戸籍者	井戸 まさえ
アンネ・フランク	早乙女 勝元	私、日本に住んでいます	スベンドリニ・ カクチ
● スターリンの娘 上・下	ローズマリー・ サリヴァン	世界のタブー	阿門 禮
アイヌ語地名と日本列島人が来た道	筒井 功	凶獣	石原 慎太郎
女が美しい国は戦争をしない 美容家メイ牛山の生涯	小川 智子	● 警視庁生きものがかり	福原 秀一郎
ひなびた温泉パラダイス	岩本 薫	森卓77言 超格差社会を生き抜くための経済の見方	森永 卓郎
とっておき！小樽さんぽ	田口 智子	中学生・高校生の仕事ガイド 2018-2019年版	進路情報研究会
65歳からの京都歩き	永江 朗	日本の15歳はなぜ学力が高いのか？	ルーシー・ クレハン
今日も一日、楽しかった	あべ けん太	死刑その哲学的考察	萱野 稔人
美しいものを見に行くツアーひとり参加	益田 ミリ	4 自然科学・医学	
北朝鮮を撮ってきた！ アメリカ人女性カメラマン「不思議の国」漫	ウェンディ・ E. シモンズ	● 不都合な真実2	アル・ゴア
新京都遺産100	平凡社	● サルは大西洋を渡った	アラン・ デケイロス
3 政治・経済・社会・教育		生命進化の偉大なる奇跡	アリス・ロバーツ
部活動って何だろう？	しんぶん赤旗「部 活って何」取材班	日高敏隆 ネコの時間	日高 敏隆
流罪の日本史	渡邊 大門	「ぜんそく」のことがよくわかる本	松瀬 厚人 監修
● 欧州統合は行きすぎたのか 上・下	G. マヨーネ	公園うんどうで寝たきりを防ぐ！	体力づくり指導協会 監修
ビジネス名著大全	橋本 忠明	お口の育て方 子どものきれいな歯並び、 良い噛み合わせをつくるために	竹内 敬輔
空あかり 山一證券“しんがり”百人の言葉	清武 英利	病院のすべてがわかる！	コンパッソ 税理士法人

新着図書案内 平成30年2月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
4 自然科学・医学		今日からはじめるヴィンテージDIY	成美堂出版 編集部
似ている動物「見分け方」事典	木村 悦子	野崎洋光 春夏秋冬の献立帳 「分とく山」の永久保存レシピ	野崎 洋光
70歳からの筋トレ&ストレッチ	大淵 修一	● 井村屋さんの毎日ほっこりあずきレシピ	岩崎 啓子 料理
図解やさしくわかる目の病気	小沢 忠彦 監修	落ちない汚れをラクに落とす掃除術	茂木 和哉
皮ふと健康おトク情報	花川 博義	和食のおさらい事典	後藤 加寿子
● 100年後も見たい動物園で会える 絶滅危惧動物	日経ナショナル ジオグラフィック社	よくわかるストールの巻き方使い方	石田 純子 監修
詳しくわかるひざ・股関節の痛みの 治療と安心生活	宗田 大 監修	1色・2色で楽しむクロスステッチの 連続模様100	小幡 小織
残念和食にもワケがある	岩村 暢子	飛田和緒のおうち鍋	飛田 和緒
自力で防ぐ誤嚥性肺炎	稲本 陽子	野菜たっぷりおかず	KADOKAWA
世界の名作数理パズル100	中村 義作	×まで楽しむおつまみ小鍋	高橋 雅子
「物理・化学」の単位・記号がまとめて わかる事典	齋藤 勝裕	重ねて煮るだけ！おいしいおかず	牛尾 理恵
日本の地下で何が起きているのか	鎌田 浩毅	フライパンリゾット	若山 曜子
日本人の源流 核DNA解析でたどる	斎藤 成也	365日のクッキー	高石 紀子
● ウイルス大感染時代	NHKスペシャル 取材班	必ずおいしく作れる和のおかず	世界文化社
自分で押せてすぐに効く！ 手ツボ・足ツボ	包 強	登録有形文化財	佐滝 剛弘
DNAの98%は謎	小林 武彦	きちんと知りたい！ 軽自動車メカニズムの基礎知識	橋田 卓也
したたかな寄生	成田 聡子	「教育費をどうしようかな」と思ったとき にまず読む本	竹下 さくら
美しすぎる「数」の世界	清水 健一	雑穀をおいしく食べるRECIPE BOOK	田中 雅子 監修
カラー図解新しい人体の教科書 下	山科 正平	● 魔法のホットケーキミックスおやつ303	学研プラス
効く！食事療法大全大満足レシピ ベスト400	主婦の友社	手編みのハンド&リストウォーマー	日本ヴォーグ社
エビ・カニの疑問50	日本甲殻類学会	● 志麻さんのプレミアムな作りおき	志麻
5 技術・工業・家事		毎日大活躍の圧力鍋	堤 人美
iPadがぜんぶわかる本	洋泉社	食材3つで簡単ごちそう小鍋	ワタナベ マキ
クローゼットがはちきれそうなのに 着る服がない！	松尾 たいこ	おうちフレンチ	三國 清三
1日500円の小さな習慣	横山 光昭	はじめましての中国茶	池澤 春菜
フェルトの福づくしチャームとお守り袋	ピポン	ぜんぶ小鍋	大庭 英子
● ニッポン全国和菓子の食べある記	畑 主税	ぜんぶ簡単どんぶり	きじま りゆうた
本当に似合うBestアイテム事典	二神 弓子	届かなかった手紙 原爆開発「マンハッ タン計画」科学者たちの叫び	大平 一枝
服部幸應の知っておいしいだし事典	服部栄養専門学校 監修	● SHOE DOG 靴にすべてを。	フィル・ナイト
後藤加寿子のおせち料理	後藤 加寿子	表目と裏目だけで編むニット	ベルンド・ ケストラー
卒母のススメ	西原理恵子 +卒母一ズ	● 「きょうの料理」 くらべて選べるわが家の味	NHK出版
MY FASHION BOOK 色合わせと着こな していつもの服がおしゃれに見える！	日比 理子	● ターシャ・テューダーのファミリー・レシピ	ウィンズロー・ テューダー
わたしの「家じかん」ルール 毎日パッと、整う暮らし	インプレス書籍 編集部	● イギリス流小さな家の贅沢な工夫	井形 慶子

新 着 図 書 案 内 平成30年2月 No.4

書 名	著 者	書 名	著 者
● 余った糸で編む小物総集編全90点	ブティック社	● 友情 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」	山中 伸弥
オープン料理とっておき	野口 真紀	カラヴァッジョの秘密	コスタンティーノ・ドラッツィオ
たかこさんの休日の昼から飲みたい! 簡単、絶品おつまみ	稲田 多佳子	わたしの兄の本	モーリス・センダック
グルテンフリーのおやつ	大塚 せつ子	昭和歌謡 流行歌からみえてくる昭和の世相	長田 暁二
魷物のお菓子 琥珀糖と洋菓子和魷物ドリンクのレシピ	さとう かよこ	かわいいジャポニスム	沼田 英子
城の科学 個性豊かな天守の「超」技術	萩原 さちこ	降伏の記録	植本 一子
かぎ針で編む和柄のざぶとん	アップルミンツ	ゼロから分かる! 5000円からの骨董入門	尾久 彰三 監修
アレンジで2倍楽しむわたしの好きな 煮込み料理	ワタナベ マキ	自分でできる! 印刷・加工テクニックブック	平田 美咲
うれしい副菜	瀬尾 幸子	● スノーキャンプ・マニュアル 雪の中でアウトドアを快適に楽しむ	ボーイスカウト日本 連盟監修
簡単手ぬいで素敵に作れる着物 リメイクの服と小物	高橋 恵美子	これで眠くならない! 能の名曲60選	中村 雅之
魔法のように効くスープ	牧野 直子	● 天才藤井聡太	中村 徹
まいにち食べたいスープごはん	学研プラス	折って使える! 実用折り紙百科	ブティック社
今日の晩ごはんと明日のおべんとう	山脇 りこ	かんたんやさしい押し絵 一年中の布絵アート	西本 典子
6 産業・商業		0・1・8 総記・哲学・言語	
47都道府県・米／雑穀百科	井上 繁	もう、ダメエツてときに役立つ 菜根譚のことは	河出書房新社
育てたい花がたくさん見つかる図鑑1000	主婦の友社	頭の決まりの壊し方	小池 龍之介
獣医さんが教える手作り愛犬ごはん	小林 豊和 監修	新哲学対話 ソクラテスならどう考える?	飯田 隆
宅配クライシス	日本経済新聞社	なぜと問うのはなぜだろう	吉田 夏彦
ヤギ飼いになる New edition!	ヤギ好き編集部	朝鮮思想全史	小倉 紀蔵
● 心に響く樹々の物語	ダイアン・クック 写真・文	自己愛的(ナル)な人たち	岡野 憲一郎
トリュフの歴史(「食」の図書館)	ザッカーリー・ ノワク	Excel作図入門(地図・アイコン・図解資 料)プロ技BESTセレクション	リブロワークス
はじめてでもできる小さな庭づくり	小黒 晃草花 監修	人前で「あがらない人」と「あがる人」の習 慣	鳥谷 朝代
農学が世界を救う!	生源寺 眞一	● 徹底検証「森友・加計事件」 朝日新聞による戦後最大級の報道犯罪 聖書、コーラン、仏典 原典から宗教の本質をさぐる	小川 榮太郎
図解知識ゼロからの現代漁業入門	濱田 武士 監修	現代暗号入門	中村 圭志
● ユニクロ潜入一年	横田 増生	アウグスティヌス「心」の哲学者	神永 正博
それ! 獣医学のスペシャリストに 聞いてみよう!	日本獣医学会	生と死のことは 中国の名言を読む	出村 和彦
● 百円の男ダイソー矢野博文	大下 英治	日本神話はいかに描かれてきたか	川合 康三
花木をはじめ育てる人に役立つ本	船越 亮二 監修	出羽三山 山岳信仰の歴史を歩く	及川 智早
7 芸術・スポーツ		リアル人生ゲーム完全攻略本	岩鼻 通明
落語とは、俺である。 立川談志・唯一無二の講義録	立川 談志	空海に学ぶ仏教入門	架神 恭介
● しょせん幸せなんて、自己申告。	綾小路 きみまる	人生を豊かにする学び方	吉村 均
フィルムカメラのはじめかた	上田 晃司	ニッポンのおみくじ 日本全国232種のおみくじを引く	汐見 稔幸
● ラストシーン	北野 武		鍋木 麻矢

平成30年 2月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 分館休館	2	3 映画会
4	5 本館休館	6	7 おはなし くれよん	8 分館休館	9	10 えほんのへやの おはなし会
11 建国記念の日 本館休館	12 本館休館	13	14 ブックスタート	15 分館休館 ビブリアバトル	16	17 アイヌ文化講座
18	19 本館休館	20	21 おはなし くれよん	22 分館休館 ライブラリー スタート	23 図書整理日 本館休館 分館休館	24 郷土文化講座 おはなし ぽけっと
25	26 本館休館	27	28			

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別本町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日 最終金曜・年末年始	木曜日 最終金曜・年末年始	年未年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00